

Title: 「全力疾走」



遠藤 謙介
1989年174cm55kgこの人生の大イベントをしっかりと駆け抜けて、太って帰って来ます。

● 最近のエントリー

- 📅 只今、シェムリアップ (2010.04.26)
- 📅 只今、ラタナキリ (2010.04.21)
- 📅 只今、ラタナキリ (2010.04.19)
- 📅 只今、プノンペン (2010.04.15)

● アーカイブ

- 📅 2010年10月
- 📅 2010年09月
- 📅 2010年08月
- 📅 2010年07月
- 📅 2010年06月
- 📅 2010年05月
- 📅 2010年04月
- 📅 2010年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future



RSS 2.0

「全力疾走」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.26

只今、シェムリアップ

[Tweet](#)
[いいね! 0](#)
[チェック](#)

4/22

この日も朝からリールがあるので炎天下の中、散歩。
コンクリートを作ってる所にお邪魔したり、いろんな家を訪ねたりした。





途中で帽子や水などを買ってもらったりして完全にヒモ状態な自分



どこの家に訪れても気さくに対応してもらい、とても充実したラタナキリだった。会話が成り立たなくても自然に笑顔がでたり、撮影に協力してもらったりできるのが嬉しかった。ホント自分次第で毎日が充実する日々になると改めて実感した1週間だった。

4/23

朝日が昇ると共にブノンベンへの移動開始



バスは3つほどのバス会社から出ており、以前より移動が大分楽になってきているのだと思った。



ブノンベンへ着くと以前の静かさを忘れるくらいの賑わいをみせていた。ブリーフィング通り運転マナーは劣悪でみんな我が先こと運転しているため渋滞が起きている状態だった。トゥクトゥクのおじさん達も倍増で「シャチキドウ」「バンバン撃てるよ」とすぐ寄ってくるラタナキリが恐しい...

4/24

この日は集合日なのでシェムリアップへ移動

バス移動も慣れたような

久々にみんなに会ったが、体調不良の人達が多く元気がない。

自分は絶好調!!

タイの情勢が悪化したため、マレーシアへ向かうことになった。

これまかりは仕方ない。

これからマレーシアの行動計画を書かなくては。

4/25

この日は局長と椿君と共に藤井校長の写真が飾られているディータムというお店へ。



写真をみたり、カンボジアのお菓子作りを体験したりトリフレッシュ出来た。



自分が作ったのはこちら



上出来!!

category: [post by 遠藤 謙介](#) | 日時: 2010.04.26 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[「全力疾走」 > 2010年04月 アーカイブ](#)

10.04.21

只今、ラタナキリ2

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

4/19

ゲストハウスに泊まっているのは自分ぐらいだからすぐに働いている人達とも仲良くなった。

クメール語でガンガン話してくるので自分も日本語で対抗するが、お互い分かる訳が無く、結局ジェスチャーと絵でコミュニケーションする。



これが噂の「カード賭博」なのか
誘われたがやり方も分からないので見ている事に。
「大富豪」みたいだが、微妙に違うみたいで結局見ているだけ。



写真は働いている子で名前はリーという
やたらと話し掛けて来たり、見てくる。そしてみんながちゃかす。
男「彼女はいるのか？」
自分「いるよ」
男「写真ないの？」
自分「まああるけど」
という流れになったのでこうなった。



こんな所で証明写真が役に立つとは思わなかった。
ありがとう証明写真...
そしてなんかごめん谷本さん...

3/20
今日も朝から自分の隣にはリーがいる
ということでリーの家を撮影することに



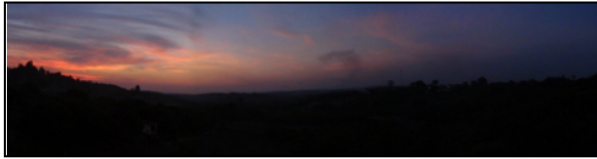
次々に家を訪ねるリー。各家の滞在時間は5分程度で、すぐ次の家へ向かう。
結果何軒も撮影できた。
だからどの家がリーの家かわからないまま終わってしまった。





これはラタナキリに来てからのオアシス
冷蔵庫なんて宿にはないから朝と夕方いつもお世話になっている。
ありがたやありがたや。

そして夕方も自分の隣にはりーがいる。



4/21

赤土が舞う中、今日もバイクは走る。
帰って来てシャワーを浴びると泡は茶色に変色。そんな事にももう慣れた。
たくましくなったのか、この生活に慣れたのか、パソコンも茶色に汚れて来たような。



ラタナキリからバイクで15分ほど走るとクルン族の村「オートン」がある。
そこには木材の運搬などの労働力としてゾウが飼われている。
今では観光用にも大活躍ということで



ゾウに乗った青年





カテゴリ：
post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.04.21 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[「全力疾走」](#) > 2010年04月 アーカイブ

10.04.19

只今、ラタナキリ

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

4/16

早朝5:45

今回は自分が一番早く出発する。
寝ている椿君を羨ましく思いながら部屋を出る。



6:15のラタナキリ行きバスへ乗り込む。ここから10時間の長旅だ。



最初は道も舗装されておりバスは快脚に飛ばすが、途中から道はボコボコになりバスもかなり揺れてきた。まだ12:00。お尻が痛い。



エンジントラブルはあったが無事18:00頃に到着。結局12時間も乗っていた。
これから電話連絡をしたが、アキラからナリVの到着、アキラ...しが中絶。場所を控す

このネットは結構とろとろしてはるし、いつか思いやネットが山なる物がとれまう。だがやはり見付からない。播磨の気持ちが分かりながらも人に聞きまくり発見。ざりざり間に合った。というかネットが繋がっててよかったと心から思った。

4/17

ラタナキリは意外とちゃんとした街で中心地は舗装もされていた。ということでサイクリング。しかし暑い。ホィアの時とは大違いで爽やかな風も吹いておらず、土煙が舞うのみ。湖沿いで休憩しているとお兄さんがやって来て、「これから彼女と会うんだ。」と言って来た。自分は疲れぎっていたので「へえ〜そうなんだ。それはよかったね。」としか言わなかった。すると彼女がやって来て「じゃあね〜。」と去っていった。ただの自慢かよ!!どうせ自分は独りですよ。



また走り出す。



以前は飛行機が開通していたが、今は空っぼの建物があるだけになっていた。なぜ飛ばさなくなったの。自分は使いたいのだよ。



いつの間にかにサンダルにねじが刺さっていた。モリャバイク屋が多い訳だ。



4/18

ネットがないと部屋でやることはシャワーと選択と寝る事ぐらい。しかも夜は街灯も少なくで辺りはすぐ真っ暗になるから8時くらいには部屋を真っ暗にして寝る準備。朝7時くらいには目が覚める。ここに来て随分健康的になった気がする。



撮影はベトナムに比べれば快調。ただやはりコミュニケーションをとるのは難しくいつも苦労している。



炎天下の午前から歩き回って昼間にゲストハウスで休憩していると
お兄さんが声をかけて来て
お兄さん「これから湖に泳ぎに行くんだけど、君も来ないか？」とのこと。
自分 「行きます!!」

即答だった。

名前はティアという。英語が話せる。

同じゲストハウスに泊まっていたリナという兄さんと3人でヤックロム湖へ

実はヤックロム湖は昨日1人自転車で行った場所で、その時は人がたくさんいてガッカリして帰って来た場所であった。すでに観光地化されており屋台などが

出て、ラタナキリ周辺の人達で埋め尽くされている感じだった。

しかし今日行くと屋台は出ていたが人もまばらになっていた。

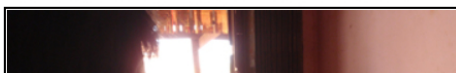
そしてみんなで泳いだ。

昨日とは格段に楽しい。たった数時間しか一緒にいなかったのにこんなに仲良くなれるなんて

と思った。日本ではこんなことまずないだろう。



泳いだあと撮った写真をカメラ屋へ持って行きさっそくプリント





リナは今日の夕方にはシェムリアップへ帰るといふ。
名残惜しいがここでお別れ。
明日もなんか楽しみたい。

カテゴリ:

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.04.19 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[「全力疾走」 > 2010年04月 アーカイブ](#)

10.04.15

只今、プノンペン

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

4/12

指定泊のホテルへ移動。

この日からお腹の調子もだいぶ良くなり外に出歩けるようになった。

みんなとも合流し久々の笑顔。

ホーチミンはハノイに比べるとだいぶ発展していて普通にビルとかが建っていて都市でもこんなにも違うのかと思った。

それに暑い。

夜は椿君と共にベントイン市場へ

ここで今までのFWの中で一番おいしい飯に出会う。

揚げ春巻きとクウシンサイのコンビネーションは抜群で、2皿も頼んでしまうぐらいおいしかった。



4/13

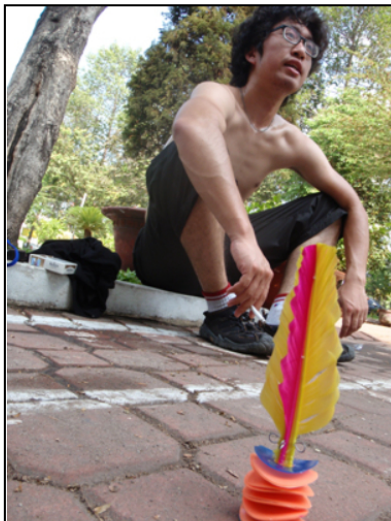
今日は椿君と共に足で羽付きする遊びをやる事に。

若者が広場で上手にやっていたので、自分たちも少し練習すればできるだろうと思っていたのだが、難しい。

なかなか前にも飛ばず炎天下の中練習すること28時間。

なんとか4回ぐらいラリーができる程度になったが、体力が持たず終了。

このFW中には若者みたいな風になりたい。





4/14
カンボジアへの移動日



もう4か国目かと思いつながらバスで初めて陸路での国境を越える。
こちらはベトナム、あっちはカンボジア。
同じに見える大地も別の国の土地でなんか不思議な感じがする。

だけどカンボジアも曇るそう。



4/15
明日からの各自取材に向けて準備。
自分はラタナキリへ向かう予定。
日本で調べた時点だと以前は飛行機が飛んでいたが今は飛んでなく、いろいろ乗り継ぎをしないではいけなかったが、現地で確認したところ直通バスがあり安心。
指定泊ではなくさん食べたのでこれを継続していきたい。
スクーリングまで意外とあと少しなのでカンボジアではベトナムの用な事が無いように注意し
納得できる日を多く努力していきたい。



頑張ります。

カテゴリ：
post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.04.15 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

「全力疾走」 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.12

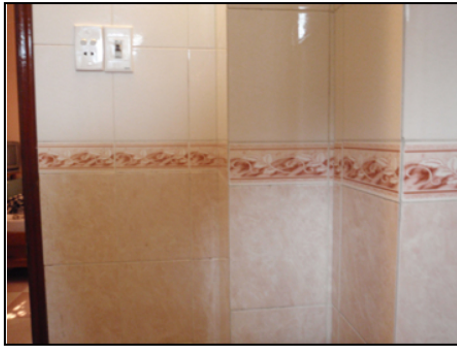
只今、ホーチミン

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

4/7
この日から悪夢が始まってしまった。
腹を壊してしまい、トイレの写真。



日本で腹を壊すことが全くなかったのでかなりつらい。外にも出歩けない。

4/8
まだまだ続く。
しかし少しは外こでなければと腹が少し安定した時に出歩いてみた。



なぜか河の上に虎がいたりしてシュール

4/9
結局ホイアンにはトイレをしに來ただけみたいになってしまった気がする。
もうホーチミンへ移動しなければならなくなってしまった。
なにしてるんだ自分。
鉄道で約15時間



4/10
早朝4:30
ホーチミン着





まだ月が出ているが駅前には結構な人で賑わっている。
朝からみな元気というか、この人たちはいったい何時寝ているんだ。
夜には広場が賑わっておりステージではドラえもんの歌を楽しそうに歌ってる



まだトイレ生活が続いてるの屋台で飯を買ってホテルへ。
腹よ、せめてもう少し安定してくれ。

4/11
夕方頃ようやく腰が治った。
この日も広場は賑わいをみせている。
23:00だというのに子供達は元気に遊んでいる
このパワーがましいと思いつつホテルへ帰る。

内容薄っぺらくてすいません。つらかったです…。

カテゴリ:

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.04.12 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

『全力疾走』 > 2010年04月 アーカイブ

10.04.07

只今、ホイアン

[Tweet](#)

[いいね!](#) 0

[チェック](#)

4/3
ゲストハウスに移動。
ハノイでの撮影の結果を簡潔に言うと最悪だった。(写真は撮ってます。)
ハノイは毎日どんよりと厚い雲に覆われていて、外に出るといつも霧雨の状態。
台湾が好調だっただけにベトナムへの期待が大きすぎたのか歩き回ってもなぜかそんなに好奇心が沸き上がってこなかった。



4/4
外へ出ると霧雨。
少し散策して宿へ戻る。
外より宿にいる時間の方が長かった。これが自分の波なのか、早くホイアンへ行きたい。

4/5
この日はホイアンへの移動日
宿で手配してもらったタクシーの兄さんは運転になると乱暴になる。
速い。前が詰まると鳴らし続ける。ハンドルを叩く。
だけど、赤信号になると歌ったり、優しく話しかけてくる。
昼間なのに30分程度で空港に着いた。
お兄さんなかなかやるね。





飛行機は無事にダナン空港へ着いた。
ホイアンへはタクシーで1時間ほど
インフォメーションセンターでタクシー情報を聞いていると中国人のおばさま3人組がやってき
た。
どうやらその3人もホイアンへ行きたいらしい。
ということで相乗り決定。しかもこの方の交渉で安く行ける事に



おばさま万歳!!
4/6

暑い!!快晴だ。
ベトナム来て初の快晴。
この日は今までの流れを断ち切るべくリフレッシュするためサイクリングをすることに。



気持ちがいい!!



街を出ると辺りは田園風景
台湾よりたいふ稲穂が育ってる



田園を抜けると





海だ~!!
 ホイアンに来てからよく「彼女はいないの?」と聞かれる
 面倒なので「孤独です」と言うのだいたい笑われ、少し慰められる。
 海に来てチャリ置き場のおばあちゃんに言われ、少しテンションが下がる。
 こんな場所に男1人か...

この後は暑さと喉の乾きとの勝負
 汗だくになりながらも宿へ帰還。
 だいぶ疲れた。今日で15°。走ったのか。
 リフレッシュのはずが...



まだ北部の方々(特に女性陣)は日焼け対策万全に

カテゴリ:

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.04.07 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[「全力疾走」 > 2010年04月 アーカイブ](#)

10.04.03

只今、ハノイ

[Tweet](#)

[いいね! 0](#)

[チェック](#)

3/31

台湾滞在最終日

この日は待望の延長コードを購入。

夜は日本でよくお世話になっている「大戸屋」で引率佐藤さんがごちそうしてくれることに。
 とてもおいしくいただきました。佐藤さんありがとうございました。

4/1

早朝4:30にベトナムへ向け出発



バスで寝る



空港に着きここで佐藤さんとは一旦お別れ





中国で会う時は成長した姿をとりあえず期待しといてください。
そして飛行機でも寝る



あっという間にベトナムへ



台湾の倍以上のバイクと騒音と湿気に出迎えられ、FWIに来たとより一層実感が湧いた。
本当にバイクが多い。子供も堂々と道を渡れるのには驚いた。
ホテルへ到着後、鉄道のチケットの予約をするため駅へ。
今回予約に挑戦するのは野尻君、矢野君、そして私。
とりあえず紙に予約したいチケットを時刻表などを見ながらベトナム語で書く。
そして野尻君が英語が通じず言い合いして退散してきたインフォメーションセンターの姉さん
のどこへ行き
「予約したいのですが、どこの窓口ですか?」と聞く
「here!!!」とだけ言う
「あっちのどれかじゃないの?」と窓口を指差しながら聞く
「here!!!」とまた言う
そりゃ言い合いになるわ...と思いながら即座に退散。
ここで整理券発券機を見つけ、押す。番号は2314
窓口の上にある番号を見ると2030,2010,2001等が並んでいる



まあ呼ばれるだろうと待つがいつこうに番号が変わる気配がない。
ここで整理券なんて関係ないということに気付く。
そうと分かれば簡単なことで窓口へ向かうが、1つ1つの窓口にたくさんの人が群がっていて、
しかもそこでは我れ先にと小さな戦争が起きていた。

前半戦はベトナム人の押しに抵抗できずどんどん割り込みされてしまっ。



作戦タイムと休憩を挟み後半戦へ

後半戦は3人が連携し窓口を囲んでいき割り込みされない作戦で勝負に出る。しかし場慣れしているベトナム人は強かった。苦戦が強いられる中懸命に戦っている私たちを見かねてか、駅のスタッフが「ちゃんと並べ」と言ってくれたのだ。それからすぐ無事に3人ともそれぞれのチケットを買え、この戦いは終戦を迎えた。



ホテルへ帰る道のりは3人ともなぜか興奮していた。

4/2

飛行機の手配の確認をしにみんなで航空会社へ



その後、湖のほとりで優雅にカフェを楽しむ



地図を買う浅井さん

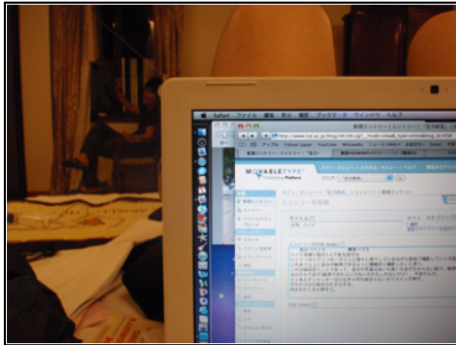




各自これからの行動に向けて準備をした。
みんなのベトナム前半戦の撮影地はご覧の通り
浅井さん→ハノイ　　ますみさん→カオバン
濱口さん→ハノイ　　谷本さん→バンメトート
野尻君→ハノイ　　岡田さん→ハロン湾
穂積君→ハノイ　　矢野君→サバ
自分→ハノイ　　椿君→フエ

ハノイ居残り組の1人である自分は
ハノイ→ホイアン→ホーチミンと徐々に南下していきながら各地で撮影していく日程。

これまで以上に自分が納得できるように積極的に撮影したいと思う。
これは毎回思うことであって、自分の写真は良いも悪いもまだわからない訳で、納得できる日
がいつ来るのかも不明で(納得できたらいけないのかもしれないけど)、不安だらけ。
とりあえずシャッター切らなきゃ何も始まらないのでスイッチ押す。
それだけの行為をひたすらする。
明日もたくさん押そう。



カテゴリ:

post by 遠藤 謙介 | 日時: 2010.04.03 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)